

平成30年度 公共事業再評価調書

(区分) **国補** ・ 県単

1. 事業説明シート

事業名	林道事業 [森林基幹道開設事業 (国補)]		事業箇所	都留市大野~都留市朝日曾雌	地区名	林道菅野盛里線	事業主体	山梨県
計画期間	当初計画	現計画	変更計画		(2) 評価項目 [事業を巡る社会経済情勢等の変化] (今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)			
	S62~H20	S62~H30	S62~H34					
総事業費	7,000 百万円	7,000 百万円	7,220 百万円		<p>①地域・住民の意向状況</p> <p>当該林道の開設は、上流部の県有林から下流部の民有林まで一体となった森林整備を可能とし、本市の豊かな森林資源の有効な利活用につながるほか、盛里地区と開地地区を連絡する災害時の迂回路にもなる等、本市にとって必要不可欠なもの。(都留市長からの意見聴取)</p> <p>②産業・経済情勢</p> <p>大型の製材工場、合板工場の整備や公共建築物の木造・木質化の促進等による木材需要の拡大を背景に、木材受給率が26年ぶりに30%台に回復するなど、林業や木材産業に明るい兆しが見えてきている。</p> <p>③国等の方針</p> <p>国では、平成28年5月に「森林・林業基本法」の見直しを行い、平成37年までに国産材自給率の目標を50%とし、森林施策の集約化、新たな林内路網の考え方に基づく路網の加速的整備により、効率的・安定的な森林経営の基盤づくりを進めることとしている。</p> <p>④上位計画・関連事業計画等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまなし森林・林業振興ビジョン(平成27~36年度) ・山梨東部地域森林計画(平成26~35年度) ・第3次県有林管理計画(平成28~37年度) ・山梨県林内路網整備計画(平成27~36年度) ・社会資本整備重点計画(平成27~31年度) <p>⑤自然環境条件等</p> <p>なし。</p> <p>⑥その他</p> <p>なし。</p>			
(1) 事業の概要								
①事業目的及び効果								
<p>本路線は、都留市大野と都留市朝日曾雌を結ぶ森林基幹道であり、路網密度の低い都留市東部、大旅川・戸沢川・菅野川流域の広大な森林の管理経営の効率化を目的に開設している。利用区域1,539haのうちスギ、ヒノキ等の人工林は約65%であり、これら森林の適正な管理、木材生産に加え、国土保全、水源涵養、保健休養等森林のもつ多面的機能を高度発揮させるための基盤となる基幹的な林道である。</p> <p>また、県道都留道志線と県道四日市場上野原線を連絡することにより、広域的な交通の利便性向上や、山村地域の振興、活性化にも寄与する。</p> <p>(事前評価未実施)</p> <p><input type="checkbox"/> 主要目標 ○森林整備の効率化</p> <p><input type="checkbox"/> 副次目標 —</p> <p><input type="checkbox"/> 副次効果 ○アクセス機能の維持</p> <p>○防火帯・延焼遮断帯の確保</p> <p>○リサイクルの推進</p>								
②事業概要								
森林基幹道開設								
現計画 延長 L=20,400m 幅員 W=5.0m								
変更計画 延長 L=20,885m 幅員 W=5.0m								
③全体計画								
		平成29年度まで	平成30年度 (評価実施年度)	平成31年度以降				
現計画	工事内容	林道開設 L=20,250m	林道開設 L=150m	/				
	事業費	6,931 百万円	69 百万円					
変更計画	工事内容	林道開設 L=20,141m	林道開設 L=150m	林道開設 L=594m				
	事業費	6,790 百万円	69 百万円	361 百万円				
※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。								
④特記事項(関連事業概要等)								
なし								
⑤これまでの評価状況(平成25年度再評価)								
計画どおりの進捗で進捗しており、今後も更なるコスト削減と時間管理を徹底し、計画どおり平成27年度までの完成に努められたい。								
(3) 評価項目 [評価時点の費用対効果分析]								
		着手時点	再評価時点	変更計画時点				
総事業費		7,000百万円	7,000 百万円	7,220 百万円				
工期		S62~H20	S62~H27	S62~H34				
経済 効率 性	評価基準年	S58	H25	H30				
	費用	— 百万円	9,285 百万円	13,821 百万円				
	建設費	— 百万円	9,098 百万円	13,348 百万円				
	維持管理費	— 百万円	187 百万円	473 百万円				
	便益	— 百万円	10,413 百万円	14,528 百万円				
	木材生産	— 百万円	240 百万円	323 百万円				
	森林整備	— 百万円	5,467 百万円	8,157 百万円				
	災害軽減	— 百万円	1,757 百万円	2,582 百万円				
	その他※	— 百万円	2,949 百万円	3,466 百万円				
	B/C	未算出	1.12	1.05				
費用便益比(B/C)は1.0を超えており、経済効率性は確保されている。								
※その他は、森林の総合利用便益、一般交通便益ほか								

2.評価シート

<p>(4) 評価項目【事業の進捗状況及び見込み】</p> <p>①これまでの計画変更等の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工箇所の地形が急峻で地質も脆弱な区間があり、計画どおりの事業進捗とならなかったため、計画期間を平成27年度まで延長した。 (平成15年度再評価) (事業期間) 7年延長 ・国庫補助事業の緊縮や労務費の上昇等により、計画どおりの事業進捗とならなかったため、林野庁と協議し、計画期間を平成30年度まで延長した。 (平成26年度) (事業期間) 3年延長 <p>②進捗率 別表のとおり。</p> <p>③事業進捗が順調でない理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地形が極めて急峻な部分があり、路線線形の再検討のため詳細測量を実施した結果、計画延長が増となったこと。 ・国庫補助事業の緊縮や近年の資材価格及び労務費等の上昇により、年間の開設延長が伸びなかったこと。 <p>④今後の事業執行上の問題点 急峻な地形、脆弱な地質といった厳しい作業環境下での事業となることから、施工時の安全管理により留意する必要がある。</p> <p>⑤変更計画の進捗予定(期間) 線形再検討により全体計画延長が確定し、路線延長が増加することとなったため、計画期間を4年延長し、平成34年度の完成を目指す。</p>	<p>⑥変更計画の変更内容(事業費)</p> <p>先線の地形が極めて急峻であることから、線形の再検討が必要となり、詳細測量を実施した結果、計画延長を20,885m、事業費を7,220百万円、事業期間を平成34年度まで変更したい。(平成30年度)</p> <p>(工事内容) 林道開設485mの増 (計画期間) 4年延長 (事業費) 220百万円の増</p> <p>(5) 評価項目【環境負荷等への配慮】</p> <p>地形の改変を極力少なくする路線計画とし、切土・盛土法面については、緑化による保安が見込める箇所には在来種を配合した法面保護工による緑化を採用するなど、良好な自然環境の維持及び環境に配慮した計画である。</p> <p>(6) 評価項目【コスト縮減の可能性】</p> <p>地形に沿った平面・縦断線形をとり、切盛土量の収支均衡、及び法面・路側構造物等を縮小する。また、急峻な地形においては路肩の縮減を行い、コスト縮減を図る。</p> <p>(7) 評価項目【代替案立案の可能性】</p> <p>なし</p> <p>(8) 所管部の今後の方針 継続・見直し継続・その他()</p> <p>(理由) 本路線は、森林の適正管理、持続的な森林の多面的機能の高度発揮等のため、森林整備の効率化を果たす目的を持つ基幹路線であることから、事業期間を4年延長し継続した上で、平成34年度の完成を目指す。</p>
--	---

○別表-進捗率(事業費ベース)

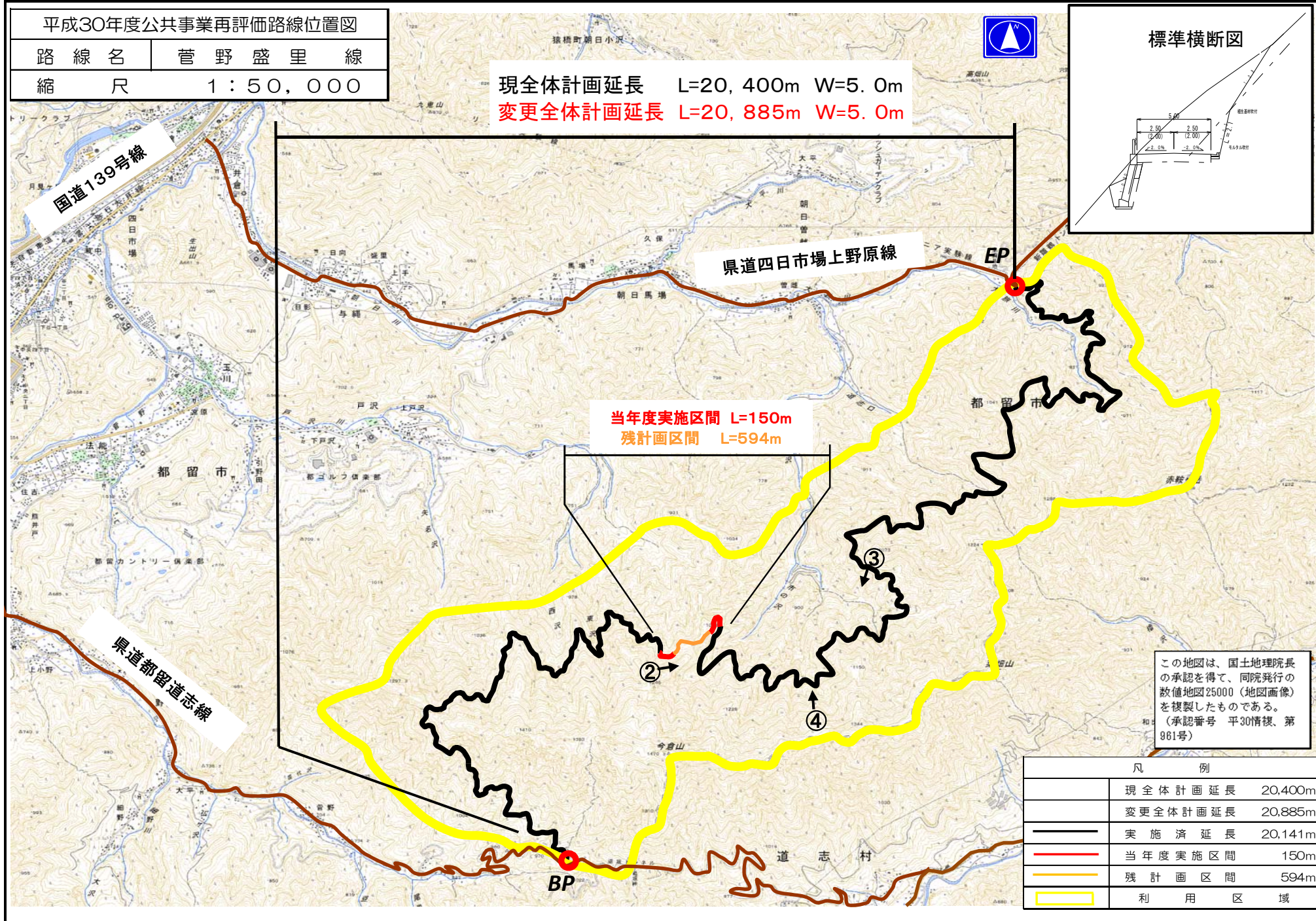
算出方法：【上段】現計画の計画事業費/総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費/総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費/総事業費×100 単位：%

	年度	~H17	H18	H19	*H20	H21	H22	H23	H24	*H25	H26	H27	H28	H29	*H30	H31	H32	H33	H34
現	計画	58	62	66	70	75	78	82	87	88	90	93	95	98	100	-	-	-	-
	実績	57	61	65	69	73	77	81	85	88	90	92	94	97	98	-	-	-	-
変更計画															95	96	98	99	100

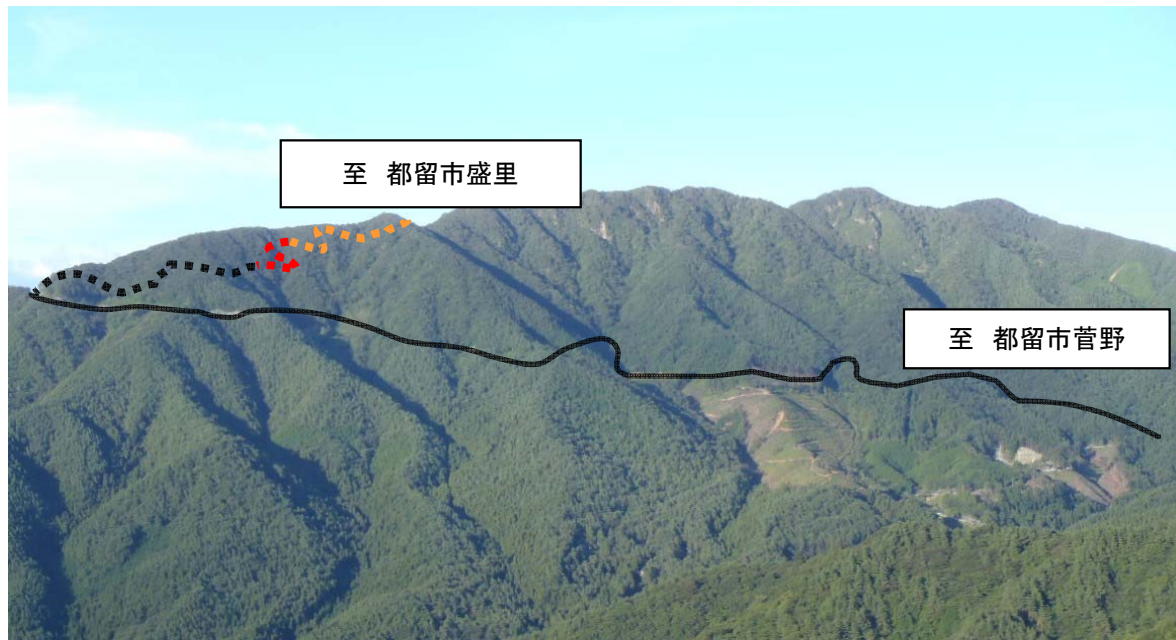
*評価年度

*H30の実績は見込み

3. 添付資料シート (1)



3.添付資料シート（2）



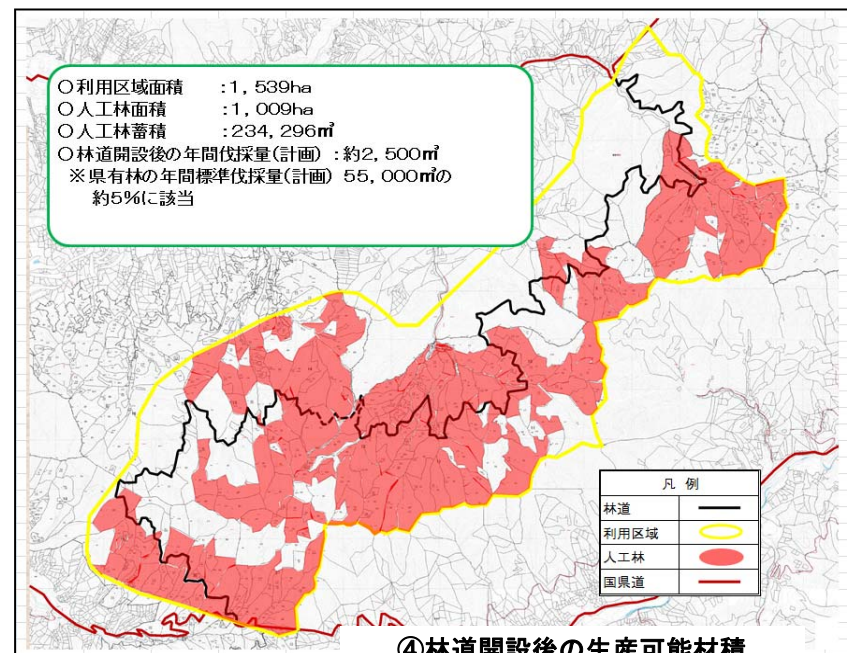
① 計画地遠景



② 先線林内状況



③ 林道沿線における収穫状況



④ 林道開設後の生産可能材積

4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
~H14	3,313,350	開設延長 L= 9,300m	46
H15	241,000	開設延長 L= 589m	49
H16	217,000	開設延長 L= 416m	52
H17	233,000	開設延長 L= 704m	55
H18	265,000	開設延長 L= 764m	59
H19	280,000	開設延長 L= 1,136m	63
H20	265,000	開設延長 L= 956m	67
H21	320,000	開設延長 L= 1,293m	71
H22	270,000	開設延長 L= 1,283m	75
H23	259,000	開設延長 L= 930m	78
H24	295,000	開設延長 L= 837m	83
H25	170,000	開設延長 L= 423m	85
H26	143,000	開設延長 L= 326m	87
H27	155,000	開設延長 L= 430m	89
H28	182,890	開設延長 L= 395m	92
H29	180,639	開設延長 L= 359m	94
H30	69,000	開設延長 L= 150m	95
H31	95,000	開設延長 L= 160m	96
H32	95,000	開設延長 L= 160m	98
H33	95,000	開設延長 L= 160m	99
H34	76,121	開設延長 L= 114m	100
合計	7,220,000	開設延長合計 L= 20,885m	